

15 名古屋大学 理学部合格 / 31 回生 2012 年(平成 23 年度)卒

僕はもともと、特定の大学に行きたいという目標はもっていませんでした。1年の1学期の頃は、何を学びたいということすら決めておらず、とにかく理系科目を勉強したいという思いでした。しかし、徐々に、理論を研究したいという気持ちが自分の中に生まれ、理学部を目指すことにしました。調べると、理学部がある大学で、家から通え、さらに国公立であるところは名大しかないことを知り、名大合格に向けて勉強するようになりました。

理系科目は大変でした。僕は忘れやすく、公式を暗記しようとしても、すぐに忘れてしまい、試験などでは役に立ちませんでした。そのため、理論だけを覚え、必要なときは、頭の中で、理論から公式を「作れる」ようにしました。こうすると、忘れていても、試験中に公式を「作って」問題を解くことができるようになりました。化学では、無機などの理論を、もっと詳しく知りたいと思ったときは、先生だけに頼らず、インターネットなどで、なぜこうなるのかを調べ、自分なりに考えるようにしていました。

文系科目も非常に難しく感じられ、正直な話、センターなどで高得点を取れたのは運もあっただろうな、と僕は思っています。しかし、同時に、運だけではなかつたろうとも思っています。それは、理論的に理解すること、考えることを、勉強の基本にしていたからです。

具体的に言うと、国語は、平日頃から本を読んでいたおかげで読解力がつき、何とか解けました。丸暗記ではなく、読解するやり方を身につけるようにしたからだと思います。

地理と現代社会は、理系科目と同様、なぜこうなるのかを覚えめました。これも、理屈を理解すると、力がつき、問題が解きやすくなるのです。

英語も、熟語なら単語の意味から、単語ならそれを構成している語源1つ1つを覚えていきました。そうやって自分なりに覚えやすくしていくことで対応しました。こうしたやり方だったので、僕は、『シス単』など、丸暗記するものを使うことが苦手でしたが、『シス単』は受験生がどんな単語を覚えればいいのかを知るために使いました。また、古文単語については、『コゴタロウ』の単語の後ろに付いている解説を全部読むことがとても有効でした。

僕の受験勉強は、終始、考えることを基本にしましたから、正直言って、効率は悪かったです。他人が覚えて終わるところを、何分も、悪いときには何時間も調べていました。わからない問題に10時間以上かけたことすらあります。しかし、そうやって理解したものは、忘れにくく、応用が利きました。それが、2次試験において、多大な力を発揮したと思っています。

受験勉強は長く、辛いものです。それに耐えていくには、大学で本当にやりたいものを見つけることが必要だと思います。ただ惰性でするのではなく、明確な目標を持って励み、合格してください。

16 大阪市立大学 文学部合格 / 31 回生 2012 年(平成 23 年度)卒

私が3年生になってから、周りには100点近く上げている人がいる中で、なかなかセンター型の模試の点数を上げられず、12月頃までに数点しか上げられませんでした。周りで喜んでいる友達を見るたび焦りました。最後の模試の時点で、第一志望のボーダーに150点も足りませんでした。そこから、センター当日まで1ヶ月しかありませんでしたが、点を上げられるかどうかは、もう考えず、ひたすら勉強しました。冬休みになっても、友だちにどんどん抜かれましたが、私は私のペースで勉強し続けました。

具体的な勉強法を挙げると、得意な英語では、わずか1点でも惜しかったので、分からない単語があれば、1つ残らず調べて、その日のうちに覚えめました。苦手な国語と日本史からは、逃げずに、分からない問題はほったらかしにせず、得意な友達に分かるまで聞きました。このように1つ1つつぶしていくことが大切だと思います。また、苦手教科においては、できない理由と自分に合う勉強法を探し出すことが一番時間がかかると思います。私は、センター前の1ヶ月で何とかそれらを探し出せたので、1ヶ月で、40点上げられました。もっと早い段階から探し出せていれば、もう少し点を上げることがで

きたかな、と思うので、このことを頭に入れて、苦手教科に是非立ち向かってください。

このように、できるものも、できないものも、漏れなく1つ1つ自分のものにしていくことで、自信がもてるようになったので、センター試験で全力が出せ、目標であった150点きっちり上げることができました。

それでも、結局、第一志望のボーダーには及ばず、ランクを下げて合格可能性の高い大学を受けるか、可能性は高くないけれど、1年間、目指してきた大学を受験するか、すごく悩みました。

でも、ここまで、センター試験を頑張ったのは、第一志望校を受けるため、楽しんで合格するためではないことを思い出し、第一志望校を受験することに決めました。

結果、第一志望校から合格通知をいただき、今は、あの頃諦めないで良かった、と強く思います。合格したからそう思うのかもしれないけれど、ずっと目指してきた大学を受けただけですっきりしました。受験は、もちろん合格することが一番だけど、結局は自分が納得して終われば良いのだと思います。私は、あのとき、合格通知をいただけなかったとしても、1年間やりきったと心から言えた自信があります。とにかく、私は後輩の皆さんに、自分を見失わないで勉強を続けてほしいと思います。できる人もいるし、できない人もいます。遅い人も速い人も。自分よりできる人、速い人に流されず、でも対抗心を持って、そして自分に勝つことが受験だと思います。地方大学を目指す人は、特に、全国の顔も知らないライバル相手に不安に思うことがあると思いますが、南高で学ぶことは、全国でも通じます。先生を信じて、自分を信じて、1年後に全力を出したと言い切れるように頑張って、私たち31回生を越えてください。

17 名古屋市立大学 経済学部合格 / 31回生 2012年(平成23年度)卒

僕が本格的に勉強を始めたのは、2年の3学期です。ずっと、目標にしていた大学があって、そこに入ろうと頑張ってきました。

けど、センター試験の本番で「日本史B」を選択しなければいけないところを間違えて、「日本史A」を選択してしまい、受けたかった大学を受けることができなくなってしまいました。まさか、自分がそんな失敗をするなんて、思ってもいなかったもので、当時は、本当に絶望しました。これだけは、本当に気をつけてください。自分がそんなことするはずがないと思っていても、やっぱり本番の緊張というもの、尋常じゃないです。本当に何が起こるか分からないです。3年生は、何度も何度も模試がありますが、常に本番だという気持ちで臨んでください。

僕は、センター試験で最大の失敗をしてしまいましたが、点数が思うように取れなくても、2次試験に向けて頑張ろうとしている人たちを見て、「自分も、今の状態でベストを尽くそう」と思うことができ、合格をつかむことができました。だから、この人が頑張っているから自分も頑張れる、この人だけには絶対に負けない、この人を抜かす、そうやって思える仲間を見つけてください。絶対に頑張れますから。あいつも、あんな点数だったから別にいいや、そんな気持ちじゃダメですよ。気持ちだけは常に強く持ってください。

また、初めから目標を低くして自分の可能性を狭めることもしないでください。高い目標に向かって頑張らないと、伸びるものも伸びないです。僕も上の目標を持っていたから、志望を下げたとき、こうして受かることができました。多分、その目標が無かったら、合格しなかったと思います。目標は、高く、しっかり持ってください。

僕の勉強法ですが、まず、早いうちに得意科目を全力で伸ばしました。それは、英語だったんですが、文系の人は、やっぱり第一優先で伸ばすべきだと思います。センター前になると、日本史、生物、現社などで、かなり手一杯になるので、なかなか英語に時間がかけられなくなります。早くから対策しておけば、センター直前の時期に、英語で焦ることもないでしょうし、どうせ私大入試や国公立大学の2次試験でも必要なので、やって損はないと思います。日本史などは、毎日授業があり、復習をしないと、どんどん遅れていってしまいます。日本史に限らず、どの教科も復習を中心に勉強していました。

僕は、目標もなく長時間勉強すると集中できなかつたので、毎日寝る前に、次の日にこれだけは絶対にやるって決めたノルマをメモ帳に書き出して、それをこなすようにしてました。慣れるまでは、予習・復習だけでかなりキツイですが、僕は他の人がやる以上に、いかにプラスアルファができるかが勝負だと思っていたので、毎日、予習・復習にプラスして何かを勉強するようにしてました。毎日、ノルマを設定することで、効率よく勉強できるかもしれないので、試してください。

また、失敗したこともあります。それは、夜遅くまで、長時間勉強すれば良いと思っていたことです。これは、勘違いでした。寝ないと、自分が予想する以上に勉強した内容が頭に入っていないくて、逆に効率が悪いです。睡眠だけは、絶対にしっかり取ってください。

効果が出始めるまでには時間がかかりますが、しっかり我慢して勉強すれば、絶対に大丈夫です。僕も力がついてきたと感じたのは、11~12月くらいでした。だから、伸びないからって、逃げ出さず頑張ってください。苦手科目だって絶対にできるようになります。数学が死ぬほど苦手だった僕も逃げずにやって、結局数学受験で成功しました。だから、絶対できるようになります。最後の最後までやり抜いてください。応援してます。

18 愛知県立大学 外国語学部 中国学科合格 / 31回生 2012年(平成23年度)卒

私の受験は、思い返せば細い一本橋を渡るような受験でした。というのも、私は家庭の事情でどうしても私学を滑り止めにするのができず、ほぼ国公立1本という形で受験しなければならなかったからです。もちろん浪人もできないので、あまり普段はプレッシャーを感じない私でも、精神的に少し疲れました。同じような状況で受験する人達、または必要以上にプレッシャーを感じてしまう人達がいるかもしれないので、1つアドバイスをしておきます。

受験はメンタルです。心が折れればあつという間に成績に影響が出ます。だから、辛かったり疲れたら、逃げてもいいのです。勉強を一旦中止して、一眠りしたっていいのです。ただ、絶対にそこで止まって腐っちゃいけません。逃げている自分を自覚して、次へと切り替えてください。回復したら、よし、と気合を入れなおして、再び机に向かってください。勉強しているのに結果が出なくて、理不尽なことばかりで、苛立ったり悲しんだりすることも多くあると思います。けれど、それは、勉強していない人には、体験することはもちろん、想像すらできない感情だと思います。そうやって精神が不安定になるのは、あなたが勉強している証拠です。どんなに不利な状況に思えても、あなたの頑張り次第で全てが変わっていきます。決して諦めないでください。

では、学習面について。私は英語が本当に苦手でした。文系で国公立志望である以上、絶対に落とせない教科です。大分荒っぽい方法ですが、私なりの解決策を残しておきたいと思います。英語は、とにかく、できないという人は単語力をつけること。ダイソーに売ってる細い付箋を買って、『シス単』のミニマムフレーズを覚える。英単語→訳のプロセスのみで結構です。赤シートで日本語訳を隠しながらやってください。1回に10ページくらいでやめておく。それ以上は一気にやっても覚えられません。覚えていないものに青い付箋を貼る。最初は付箋だらけになると思います。でも気にしない。翌日になったらまた同じページを覚える。それでも答えられなかったら緑の付箋を貼る。次の周回でも駄目なら黄色、オレンジ、ピンク、と自分の覚えにくい単語を把握する。大抵はオレンジに行く前に全て覚えきれると思います。でも、付箋がなくなったページもちゃんと時々復習すること。センター試験までに第2章までは必ず終わらせること。後は補習などで先生方が解説して下さる文構造の仕組みをきちんと聴いていけば、なんとかセンターで7.5割くらい取れるはず。ただ単語力だけで押し切れるのはセンターまでなので、2次ではそれだけで安心しないことです。和訳が必要になるとどうしても文構造の把握が重要になります。私のオススメは学校で販売が勧められる『長文精講』をひたすら解くことです。英語は量なので、基本を抑えた上で数をこなせば必ず力になります。皆さん、最後の最後まで決して諦めないで頑張ってくださいね。